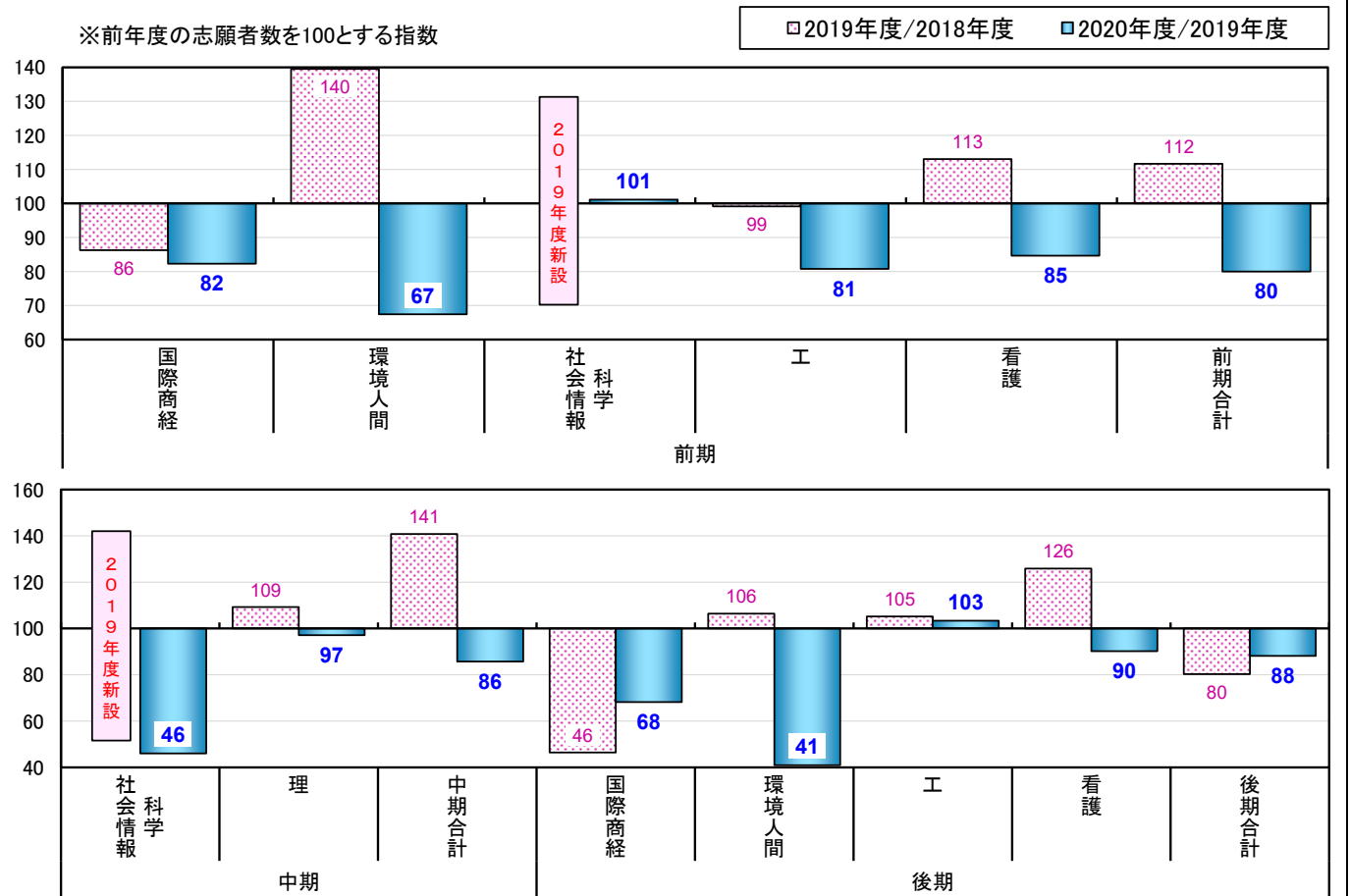


# 2020年度入試状況分析【国公立大】

兵庫県立大：全ての日程で減少、特に前期が大幅減少 前期：-424人 中期：-431人 後期：-205人



(注)国際商経の2018年度は(旧経済+旧経営)との比較

## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は424人(80)の大幅減少で、2年ぶりに減少。中期は431人(86)の減少、特に開設2年目の社会情報科学(46)は半減を超える減少。後期は205人(88)の減少で、2年連続減少。

### <前期日程>

- 国際商経(82)は、改組2年目だが系統への人気が高いこともあって大幅減少。学科・コース別では、(国際商経/経済学・経営学)(79)は大幅減少、一方で(国際商経/グローバルビジネス)(130)は大幅増加と対照的。
- 環境人間(67)は、センター試験：個別試験が700点：300点で個別試験が総合問題ということで、センター試験の平均点ダウンの影響を大きく受けて大幅減少。学部全体では2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- 開設2年目の社会情報科学(101)は、前年度並。
- 工(81)は、大幅減少で、2年連続減少。学科別では3学科ともに大幅減少で、特に(電気電子情報工)(79)は2割を超える減少。
- 看護(85)は、大幅減少で、2年ぶりに減少。

### <中期日程>

- 開設2年目の社会情報科学(46)は、半減を超える減少。前年度志願倍率が33.7倍という高倍率だったことから敬遠。
- 理(97)は、2年連続増加の反動でやや減少。学科別では、(物質科学)(112)は増加、一方で系統への人気が高い(生命科学)(83)は大幅減少と2学科間で対照的。

### <後期日程>

- 国際商経(68)は、改組2年目で後期は(国際商経/経済学・経営学)のみの募集だが、系統への人気が高いこともあって大幅減少。
- 環境人間(41)は、センター試験のみで個別試験が課されないことから、センター試験の平均点ダウンの影響を大きく受けて、半減以上の減少。学部全体では2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- 工(103)は、やや増加で3年連続増加。学科別では、(電気電子情報工)(109)は増加、(応用化学工)(106)はやや増加、一方で、(機械・材料工)(94)はやや減少。
- 看護(90)は、前年度大幅増加の反動で減少。